

世代を越えた学びの場へ

令和3年1月に移転した五城目小学校新校舎を会場に様々な講座を実施し、子どもから大人までが集う「みんなの学校」。「地域に開かれた学校」を目指す取り組みの一環として行うこの事業へ込めた思いや、「これまでに実施した講座の内容、参加した方々の感想などを」紹介します。



五城目小学校を会場に行う「みんなの学校」。多様な分野の講座の開講により、子どもから大人までが集う、世代を越えた学びの場となっています。

「2つの教育」の目指す姿

五城目小学校を主会場として様々な内容の講座を月に3、4回ほど実施し、子どもから大人まで、幅広い世代の方々が参加する「みんなの学校」。

学校教育で掲げる「社会や地域の課題を解決する人材の育成」、社会教育・生涯学習で掲げる「社会や地域の課題を学ぶ」という、「2つの教育」のそれぞれの目標に向かってともに歩むきっかけの一つにしようとして、年10月からスタートし、これまでに、町内外から600人以上の方が参加しています。

扱うテーマは多岐にわたり、それぞれに様々な意図を持って企画しています。小学生が授業の一環として利用したり、逆に

学校の授業を社会教育講座として開放したりと、いろいろなパターンがあります。また、保護者が子どもを迎えに行く前の時間にちょっと勉強したり、形式ばらない参観日のような形態、夜間仕事帰りの学びなど、様々な参加の仕方を留意し、どなたでも参加できます。

大人も子どもも、町民の皆さまの多様な学ぶ意欲に応えていくこと、地域の課題をみんなで共有していくこと、そして、同じことに興味を持った方同士の出会いの場として、町では、これからも様々な企画を留意していきます。

ぜひ、みなさんも参加してみましよう。ちょっと雰囲気味わうだけでも、新しい興味が持てるかもしれません。

3月の講座案内

●みんなで体験！ ICT教育の今

小学校で行われているICT教育を体験しながら、「リモート学習って何?」「タブレットを活用した学び合いとは?」などの疑問にお答えします。

- 日時 3月3日(金) 午後1時30分～午後2時30分
- 講師 小玉 史男さん(町ICT支援員)
- 会場 五城目小学校音楽室

●映像をつくる

日常がこんなにも美しいということをハッと気づかせてくれる映像の数々はどのように撮影されたのか。五城目で育ち、映像の道に進んだ印藤さんのストーリーや、日常の豊さを切り取るヒントに迫ります。

- 日時 3月27日(月) 午後6時30分～午後7時30分
- 講師 印藤 正人さん、印藤 麻記さん
- 会場 地域図書室「わーくる」

◆各講座の申し込みは、以下のQRコードからのウェブ申し込みにより受け付けます。



◆受講は無料です。
 町教育委員会生涯学習課
 ☎852・4411

地域・SDGs

持続可能な地域づくり

▶講師：国際教養大学准教授 工藤尚悟さん
 SDGsの観点から五城目町を考える場を設けました。事例を通して「サステナビリティ(持続可能性)」について学び、未来に対し自分たちのできることを考えるきっかけとなりました。



健康・地域医療

健康的な新年のはじめ方

▶講師：コミュニティドクター 漆畑宗介さん
 「健康づくり」をキーワードとし、生活習慣を考える場を設けました。講師の漆畑さんの活動を通して、個人の健康から地域医療の現状まで幅広く考える機会となりました。



エネルギー・産業

五城目で発電 エネルギーについて考えよう

▶講師：株式会社このほし 小原祥高さん
 温暖化をめぐる世界の現状や日本と五城目町のエネルギー事情について学びました。町でできること、自分にできることを省エネ、節エネの観点から考えるきっかけとなりました。



余暇・趣味

コーヒーを淹れて過ごす四季

▶講師：08COFFEE店主 児玉和也さん
 町出身の人気コーヒー店店主のこれまでの軌跡と体験をもとにコーヒーの世界の上流部を紹介。充実した余暇を過ごすきっかけとして、町内外からたくさんの方が参加しました。



インタビュー①/「みんなの学校」講師から



児玉 和也さん
 (08COFFEE 店主)

「コーヒーを淹れて過ごす四季」の講師を担当しました。私は馬場目小学校出身ですが、新しい小学校を中心に町のみなさんが集まれる素晴らしい機会に参加させていただきました。秋田市にお店を構えて10年以上が経ちますが、私にとっても故郷を考えるきっかけとなりました。



丑田 俊輔さん
 (ハバタク株式会社 代表取締役)

国際教養大学と連携のもと、五城目小の総合学習として9年目を迎える「ごじょうめで世界一周」の発表会を担当しました。子どもたちの英語での発表を通して、自分自身を含め町民一人ひとりが、暮らすまちの豊さや世界とのつながりに思いを馳せる時間となったのではないかと思います。

インタビュー②/「みんなの学校」に参加して



齊藤 和子さん
 (69歳・館越)

「みんなの学校」の取り組みのように、何歳になっても、小学校に足を運ぶ機会があることは本当に素晴らしいことだと思っております。様々な世代が様々なことを学ぶ姿は、きっと子どもたちの記憶にも残るはずです。友人を誘いながら、また学びに行きたいと思っております。



西井 山田 永澤
 □□さん(五城目一中2年)
 航平さん(五城目一中教諭)
 □□さん(五城目一中2年)

ゾーイさんの国際理解講座に参加したら、自分の学級の生徒と一緒にになりました。音楽グループのBTSを題材に、歌ったりクイズに答えたりしながら楽しく英語を学び、少し若返ったような気分です(山田教諭)。